

健康で充実した生活づくり

地域医療が支えるまち

心豊かに生き生きとした生活を送るためには、健康が基盤となります。

市内で新型コロナウイルス感染症が発生した際、地域医療の核となっている十和田市立中央病院の医療従事者は、経験がない現場での活動に加え、さまざまな誹謗・中傷などの中でも地域医療を一生懸命に支えてくれました。

今号では、中央病院看護局の築場理子看護局長に、実際の現場の様子や、今後の新型コロナウイルスに向けての対策などについて伺いました。

Interview

十和田市立中央病院

所在地 西十二番町14番8号  
院長 高橋 道長

「いのちをみまもり、いのちをささえ、いのちをつなぐ」を医療の実践の理念として掲げている中央病院。一人一人の人間としての尊厳が大切にされ、誰もが安心して暮らし、誰もが人間らしく生きることができる地域社会を構築し、安全で温かみのある医療を提供することを目指しています。



◆世界でも経験したことのない新型コロナウイルス感染症が、人口6万人の街、十和田市でも発生しました。どんどん恐怖や不安が高まる中、新たな感染者を増やさないために、中央病院の職員の皆さんが全力を尽くし頑張っています◆

Q 経験がない現場での対応で、どのような思いで勤務していましたか？

中央病院は第2種感染症指定医療機関で、当初、感染症の患者さん専用の病床が4床ありました。1人目の患者さんが入院したときは、看護師を6人配属しました。しかし、市内でクラスターが発生し、その後、院内感染も発生してしまったため、最終的には35人を配置し、感染症病棟の病床数も4床から13床に増やしました。



築場看護局長

看護師たちは自分たちが感染しないように、家族にも感染させないように、拡大させないようにと気を付けながら勤務していました。患者さんに対しては、早く退院できるようにサポートやケアを行い、通常と同じように寄り添った看護をしていました。

新型コロナウイルス感染症に対する恐怖や不安はもちろんありましたが、市民の皆さんからの励ましの声や支援などがあり、頑張れたと思います。

ゆっパルの由来



この地方の方言で、「結ぶ」という意味の「ゆっぱる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできています。『一人ひとりの思いが結びついて仲間をつくる』という願いが込められています。

十和田市男女共同参画市民情報誌「ゆっパル」編集委員によるコーナーです。

Q 新型コロナウイルス感染症に感染しないために、改めて気を付ける点、今後、冬場に向けた対策などを教えてください。

手洗い、アルコール消毒、マスクの着用、3つの密を防ぐなどの基本的事項はもちろん、引き続き、不要不急の県外への外出はできれば避けたいと思います。手洗いなどが習慣づいたことにより、昨年度のインフルエンザ感染者数は少なかったため、これを継続していくことが大切だと思います。

また、毎日体温を測るなど健康観察をしっかり行い、栄養・睡眠を十分に取り免疫力を高めることが大事だと思います。

Q 最後に、今回の経験を通して伝えたいことなどありますか？

今回のことを受けて、国からの新型コロナウイルス感染症に関する情報が日々変化していく中で、その日にやるべきことをミーティングしながら改善点などを話し合い、同時並行で進めていかなければならないため、臨機応変に変化に対応する力が大事だと感じました。

また、感染症病棟に配属になった看護師たちから、今回経験したスキルがあるので、「第2波、第3波のときにもまた勤務してもいい」という前向きな言葉をもらえて、それがとても心強かったです。病院職員一丸となって取り組んだ経験を力とし、次のコロナの波に向けて準備していきたいと思っています。

■インタビューを終えて

健康な生活を送るためには、やはり医療従事者の方々の力が大きいです。患者さんの処置をはじめ、感染を広げないために従事していただき本当に感謝しています。

中央病院看護局は「看護は楽しい」と後世につないでいけるよう「気配り・前向き・いきいき」を看護局の合言葉としているそうです。この3つの合言葉のように、これから人生100年時代を明るく生き生きと過ごしていきたいと、改めて感じさせられました。

ホットな一句

コロナ禍に  
負けぬ看護の  
強い意地  
奈生美



◆◆ 編集後記

- 医療従事者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も感染しないように気を付けていきましょう！ (U)
- 現在、私の母は入院中ですが、新型コロナウイルスの影響で面会禁止です。早く落ち着けば、皆さん安心ですよ… (K)
- 医療従事者の皆さんにも「心のケア」は本当に必要ですね。医療従事者の皆さんには、感謝の言葉しかありません。 (S)
- 今年の2月から注意深く生活して数カ月。自宅と職場とスーパーの三角形をなぞる日常を続けています。慎重すぎるかな… (N)
- 手洗い、うがい、マスクの着用など自分ができることを真面目にやることが大事ですね。 (F)

「さんかく日和」その16

Akemi.N



編集 十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員

漆館 優美花、木村 奈生美、新藤 幸子、中野渡 明美、深谷 淳子

発行 総務課 広報男女参画係 ☎⑥6702



市内の保育園、小・中学校からの励ましのメッセージ